

ウイルスに負けない！ 狭山を支える人たち



今月の表紙では、医療従事者の方々への感謝のメッセージを掲載しました。市内には、ほかにも新型コロナウイルスに負けて働いている方がたくさんいます。今月の特集は、狭山市民のために日々奔走してくださっている方々の声を集めました。



地域包括支援センター
高齢者が安心して暮らせるために

市内に7か所ある地域包括支援センターは、地域の高齢者の相談窓口です。現在は、新型コロナウイルス感染症の拡大を予防するため、訪問は極力控えています。相談などに対応できる体制をとっています。心配事がありましたら、お住まいの地域の包括支援センターへご連絡ください。ウイルス予防は手洗いと睡眠、バランスの良い食事、適度な運動…そして笑顔！ウイルスに負けないように頑張りましょう。



「さやまのお店全力応援サイト」をオープン



新型コロナウイルス感染症拡大防止のための自粛要請により、地域経済に大きな影響が出ています。この状況を少しでも回復させるため、市と、狭山商工会議所、狭山市ビジネスサポートセンターが連携し、「新型コロナウイルスに負けない！『支え合い、さやま』プロジェクト」をスタートしました。プロジェクト第1弾として、4月1日から「さやまのお店全力応援サイト」を開設。このサイトは市内事業者を支援するため、テイクアウトの弁当や出張サービス、スポーツジムの貸し切りなどの商品情報や、サービス情報を無料で掲載しています。情報は日々更新中。ぜひご活用ください。



詳細はこちら

問合せ 商業観光課へ内線2552

サイトに掲載しているお店の一つ「炭火焼き豚丼 松風」さんにお話を聞きました



合い盛り豚丼発祥のお店として店内での提供をメインで行っていましたが、3月30日からテイクアウトのみに切り替えました。通常営業をしないと経営が苦しくなりますが、まさに3密に該当してしまう店内にお客さんを入れて営業を続けることはできませんでした。

今私たちにできることは、家での「食の楽しみ」の提供です。自由に外食をすることが難しい中、少しでも食事を楽しんでいただくことができればと思っています。

狭山市中のお店が笑顔のお客さんであふれる日を心待ちにして、皆さんと力を合わせて乗り越えていきたいです。



埼玉西部消防局 救急救命士

細心の注意を払いながら全力を

私たちの主な使命は、傷病者の方に対して救急救命処置を施し、速やかに病院へ搬送すること。この任務を日々全うするために一番気を付けていることが、まず私たち自身が新型コロナウイルス感染症に感染しないことです。現場から戻って来た後は、ほかの隊員が使わない導線を通り、消毒を行うなどの対策をしています。

また、気道を確保する際に使用する管に、ウイルスを通さない専用のフィルターを付けるなど、救急救命のあり方自体も変わってきています。

今が正念場。一人でも多くの市民を助けるため、細心の注意を払いながら全力を尽くします。



狭山市社会福祉協議会

安定した生活を願って



社会福祉協議会では、新型コロナウイルス感染症の影響で、休業や失業などにより生活資金でお悩みの方に向けた緊急小口資金などの特例貸付を3月25日から実施しています。(7ページに関連情報あり)

取り扱い窓口の事務所では、主に貸付の案内や、申し込み用紙の受け渡し、電話対応などを行っています。

また、職員が感染しないよう、飛沫防止用のカウンターパネルの設置や、お客様と距離を取っての応対、お客様に検温のお願いなども行っています。資金の貸付によって、お客様の生活や狭山市の経済が安定するようお願いながら業務にあたっています。